

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 9 月 12 日 (2013.9.12)

【公開番号】特開 2012-32473 (P2012-32473A)
 【公開日】平成 24 年 2 月 16 日 (2012.2.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-007
 【出願番号】特願 2010-170062 (P2010-170062)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 9/09 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 9/08 3 6 1

G 0 3 G 9/08 3 8 4

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 7 月 29 日 (2013.7.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 5】

すなわち、本発明は、結着樹脂及び着色剤組成物を含有するイエロートナー粒子を有するイエロートナーであって、

該着色剤組成物が、C . I . ピグメントイエロー 7 4 を有しており、

該着色剤組成物の、J I S (K 5 1 0 1 - 1 7 - 1) (2 0 0 4 年) に基づいて測定した pH が、6 . 0 以上 1 0 . 0 以下であり、

該着色剤組成物の、p H が 7 . 0 におけるゼータ電位を $\zeta P (7 . 0)$ としたとき、 $\zeta P (7 . 0)$ が、- 2 0 0 . 0 m V 以上 - 5 0 . 0 m V 以下であり、

該イエロートナー粒子が、更に、マグネシウム、カルシウム、バリウム、亜鉛、アルミニウム及びリンからなる群より選ばれる少なくとも 1 種の元素を含有し、

該イエロートナー粒子中の該元素の含有量の合計が、該イエロートナー粒子の質量基準で 1 0 p p m 以上 1 0 0 0 0 p p m 以下である
 ことを特徴とするイエロートナーである。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

結着樹脂及び着色剤組成物を含有するイエロートナー粒子を有するイエロートナーであって、

該着色剤組成物が、C . I . ピグメントイエロー 7 4 を有しており、

該着色剤組成物の、J I S (K 5 1 0 1 - 1 7 - 1) (2 0 0 4 年) に基づいて測定した pH が、6 . 0 以上 1 0 . 0 以下であり、

該着色剤組成物の、p H が 7 . 0 におけるゼータ電位を $\zeta P (7 . 0)$ としたとき、 $\zeta P (7 . 0)$ が、- 2 0 0 . 0 m V 以上 - 5 0 . 0 m V 以下であり、

該イエロートナー粒子が、更に、マグネシウム、カルシウム、バリウム、亜鉛、アルミ

ニウム及びリンからなる群より選ばれる少なくとも1種の元素を含有し、

該イエロートナー粒子中の該元素の含有量の合計が、該イエロートナー粒子の質量基準で10ppm以上10000ppm以下であることを特徴とするイエロートナー。

【請求項2】

該イエロートナー粒子が、更に、極性樹脂を含有し、

示差走査熱量計により測定した該極性樹脂のガラス転移温度(T_g)が、80以上120以下である

請求項1に記載のイエロートナー。

【請求項3】

該イエロートナーの、テトラヒドロフラン(THF)可溶分中におけるシクロヘキサン(CHX)不溶分の、示差走査熱量計により測定したガラス転移温度(T_g)が、80以上120以下である請求項1または2に記載のイエロートナー。

【請求項4】

該イエロートナー粒子が、重合性単量体及び着色剤を含有する重合性単量体組成物を水系媒体に加え、該水系媒体中で該重合性単量体組成物の粒子を形成し、該重合性単量体組成物の該粒子に含まれる該重合性単量体を重合させて得られるトナー粒子である請求項1～3のいずれか1項に記載のイエロートナー。